

<p>1 学校教育目標</p> <p>自由と平和を尊び創造的で自主精神に充ち、心身とも健康な自己教育力の高い国際社会人を育成する。</p> <p>①豊かな情操と人間尊重の態度の育成 ②基礎学力の充実と創造的思考力の育成 ③個性・能力の伸長と進路選択能力の育成 ④自由と責任を重んじる民主的態度の育成 ⑤公正な判断力と社会適応能力の育成 ⑥健康な心身の育成</p> <p>中・長期目標 …… 建学の精神を踏まえ、すべての生徒がその個性・能力を最大限に伸ばすことを願い、人格形成のために必要な基礎基本を重視し、ゆとりある、しかも、充実した学校生活を送らせ、教養と専門技術に習熟し、社会の急激な変化に対応できる創造性と思考力に富み、国際的で個性豊かな心身ともに健全な生徒を育成する。</p>
--

<p>2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)</p> <p>①基礎学力不足に関し積極的な取り組みはおこなわれた。効果については少しずつは上がってきているが、更なる強化、継続を要する ②大きな問題行動もなく生活態度は落ち着いているが、退学者を出さないためにもさらなるきめ細かい指導が求められる ③生徒の進路実現に向け、生徒個々に対しきめ細かい指導が必要である。 ④部活動の加入率を高めるとともに、特に女子及び文化部の加入率を高めて活性化を図る必要がある。 ⑤全学科コースの特色ある取組および結果を見出し、受験生への広報が必要である。 ⑥学級運営目標を達成するために、事前の打ち合わせおよび調整、教職員の業務内容、質および量を精査する必要がある。</p>
--

<p>3 本年度重点目標を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題</p> <p>①PCDA サイクルにのっとり、各教科基礎学力の定着に努める。 ②基本的な生活習慣の体得に努める。 ③生徒一人一人が自分らしく生き、生活でき、自分らしい自分になれるような環境を作る 個性の尊重 ④部活動の加入率を高め、学校行事や部活動等の活性化に努める。 ⑤中学校との交流を深化し、本校に求める情報を入手し、学校運営等に反映させる。 ⑥分掌間の情報を共有し、交流を深化させ、OJT の特権に努める。</p>
--

4 自己評価				
分掌	重点目標	具体的方策	評価基準	達成度
1 学年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立した高校生らしい生徒の育成 それぞれのレベルに合った学力の向上 積極的な部活への加入 	<ul style="list-style-type: none"> 学年朝礼の週1回の実施 1日1回の校内巡視 模試・検定試験への積極的チャレンジ 部活動への全員加入 	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2
2 学年	(1)基本的な生活習慣の確立 (2)進路決定に向けて、ひとりひとりが夢の実現のために取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ①皆勤・精勤あわせて学年年間70%以上 ②基礎学力検査(進路マップ・スタディサポート)の結果を向上させる ③調査書に記載できるものを残す(検定、イベント等) ④服装・頭髪検査で1回目の合格者を増やす 	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2
3 学年	<ul style="list-style-type: none"> 母校を愛することのできる生徒の育成 全員卒業 	<ul style="list-style-type: none"> ①希望する進路の実現 ②各学校行事、活動の充実 ③校内の巡視により適切な信頼関係を築く ④遅刻や欠席に関して各担任が責任をもって指導し、自ら学年団を動かす。 	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2
特進	1、国公立・有名私大合格者を複数名出す。 2、大学入学共通テストの把握と対策を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会や勉強合宿を通して、特進コースが一体となり、自ら学ぶ姿勢を作る。近年の入試傾向を把握し、損のない受験方法を提案する。 ・新入試に向けて不明な点をなくし、授業時間で足りない場合は対策課外を実施する。 	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
進学	進路実現に対する意識の啓発を促し、明確に進路決定の意志を確立し、志望する進路実現に向け、合格を目指す。	(1 学年) 進路を意識した基礎学力の見直し、向上 (2 学年)進学への意識を高め、基礎学力の向上、定着 (3 学年)進路実現に向け、家庭学習の習慣化、朝学の実施、 課外授業への積極的参加 オープンキャンパスへの参加	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2
キャリア	1 社会や職業に関する正しい理解をさせる。 2 学びの振り返りを定着させる。	1年 自己理解を深めるため R-CAP を活用したキャリア教育、振り返り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・職業講話の実施 ・「総合探究」における学びスタイル 課題解決型学習の定着を図る。 2年 職場体験学習または職場見学等の実施と振り返りおよび基礎学力を定着させるための学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・SPI 学習の指導 ・資格取得(技能講習、パソコンスキル、ビジネス各種 	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2

		検定) 3年 社会人基礎力を高めるための学習 活動の実践 ・進路実現に向けた面接指導、情報 提供		
アーティスト	①進路実現にむけて、自己表現力の育成 ②地域貢献活動	①外部講師による授業の増加 (美術専攻者への取り組み) ・美術鑑賞、作品出展、作品展開催、コンテスト等への参加 (芸能専攻者への取り組み) ・音楽、ダンス、声優などの個別課題の授業展開 ②つつじ祭り、ツリー祭り等、多くの地域イベントへの参加	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
商業科	①身だしなみの徹底 ②上級資格者の輩出(全商3種目以上1級、日商簿記等) ③上級学校への進学	①授業開始時の服装・名札の点検 ②課外授業の実施(商業系部活動への入部) ③朝学・宿題による基礎学力の定着	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2
電気科	①第2種電気工事士15名合格 ②安全意識の向上	①放課後補講や朝学、週末課題や動画講義などの充実に加え、外部講師との連携を強化する。 ②毎月 KYT 活動を行う。また、外部講師に現場の事故事例とその対応について講演してもらう。	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2 4
総務部	各行事や総務部の業務の見直しを図るため、各人が多角的な視野を持ち業務の効率化を図る	①不必要な業務内容はないか、改善できる点がないかを各事業でチェックする ②新しいやり方やツールを導入する ③関係各部署との打ち合わせを密にし、より良い行事にする方法を見つける	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
教務部	①円滑な学習活動のための環境整備 ②教員研修の案内と実施 ③情報管理の徹底	・授業時間割の変更を確実にこなす ・教具等の整備 ・校内外の研修会の案内を徹底する ・個人情報の管理と正確な成績処理	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2
	[情報処理・視聴覚室] (情報処理室) ・施設・設備の点検・管理	(情報処理室) ・機器の点検を定期的実施する ・機器等の故意による破損や汚損を防ぐため、啓もう活動を行う ・必要に応じてIT統括班や事務室に機器の発注や修繕等を依頼する	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3 4
	(視聴覚室) ・学校行事の放送準備・運営の徹底 ・学校行事の映像撮影・記録・管理	(視聴覚室) ・事前準備において、すべての機材の動作を確認 ・リハーサルなどを十分にを行い、当日円滑な運営ができるようにする。 ・視聴覚室機器のリニューアル(BDプレーヤー、プロジェクタなど)		
	[図書室] 図書室の活性化	①図書委員の積極的な活動 ②図書だよりを出す(月に1回) ③来室者を増やす ・生徒が入りやすい図書室づくりが行えているか。 ・自習室としても活用できているか。 ・多くの生徒が利用しているか。	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
生徒部	①問題行動発生防止 ②服装・頭髪指導の徹底 ③自転車事故の減少	・全教職員による頭髪・服装・挨拶指導 ・校内外の巡視の実施 ・各種安全教室の実施	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3 3 3
	[教育相談室] 中途退学者の減少	・出席状況の把握 ・不登校および悩みを持つ生徒への指導 ・別室登校生徒への対応 ・スクールカウンセラー(SC)による毎月2回の対応。生徒本人や保護者との直接面談。	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
特別活動部	環境の整備	生徒会執行部の積極的な活動 生徒会各委員会の活発な取り組み 学校行事への計画的な取り組み 体育部の活性化 文化部の活性化 ボランティア活動の推進	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3

	国際理解教育の推進	姉妹校へのホームステイ(受け入れ)実施 オープンスクールでの活動報告	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
進路部	[進学指導係] ・実力の養成 ・「大学入学共通テスト」対策	①進学課外と補習課外の実施 対面, クラッシー ②各教科・担任への依頼 模試分析, AL 等 ③情報提供 模試結果, 「大学入学共通テスト」 ④クラッシーの積極的活用 宿題, 連絡事項の配信及びポートフォリオの利用の促進	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2
	[就職指導係] ・2020年問題を見据えた 企業との連携強化 ・就職試験対策の強化	①求人確保のため企業との情報共有や早期企業訪問の実施 ②各学年について, 早期面談指導 ③各学年会との連携と情報共有	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2 3
保健環境部	健康・安全教育の徹底 環境美化の徹底	・定期健康診断の計画・実施, 事後措置 ・日常点検の強化 ・ゴミ分別・リサイクル意識の推進	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
	[保健室] 健康教育の徹底	・保健に関する情報の発信 ・要管理生徒の状態を的確に把握する ・健康診断で発見された疾病異常の早期受診指示及び継続管理の徹底を図る	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
生徒募集部	総受験者数 1,400 名以上 入学者数 250 名以上	・オープンスクール, 中学校・塾訪問, 保護者対象入試相談会, その他イベントの企画・運営 ・本校生徒の積極的活用	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	3
事務室	予算管理を徹底する	・各科・係予算要求書に係るヒアリングの実施 ・積算根基に基づく予算の執行	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	2
	保護者の特定個人情報保護の徹底	・取扱者を限定する ・作業時の環境を確認しながら処理を行う ・機器を定めて情報システムにアクセスする ・キャビネットを常時施錠し保管状況を常に確認する	4:十分に達成できた。 3:おおむね達成できた。 2:取り組んだが十分に達成できなかった。 1:計画のみに終わった。	4

5 学校関係者評価
保護者意見
① 英検の受験についてアドバイスが欲しい。
② 美術部の活動状況を詳しく知りたい。
③ 授業見学を土曜日に行って保護者が参加しやすいようにするのがいいのでは。
④ PTA 役員や国際交流の活動を経験した保護者が発表できる場があるとよい。

6 学校評価総括(取組の成果と課題)
① 基礎学力の向上を目指して各学年、学科コースにおいて様々な取り組みを行っている。目標としている数字を完全に達成はできていない部分はあるが、学校全体を授業大事の雰囲気にも染めて行く。(授業時間の確保等)
② 本年度の生徒募集に於いて、受験者数は少子化の影響で前年と比べると約 100 名程度減少したが、手続き者数は逆に 270 名で 14 名増加した。これは本校の教育活動が評価されつつあるという証ととらえている。今後さらなる取り組みの下更なる増加を目指す。ただ、実際の入学人数に関しては公立の二次入試制度という理不尽な制度のため 39 名が辞退していき前年比より 4 名増に留まった。今後は更なる取り組みの下、制度に負けない強固な学校教育活動を行う。
③ 部活動に関しては、加入率も上がり最終的加入率 75.5%となり活性化につながってきている。結果インターハイ、中国大会に出場している。
④ 長欠者を受け入れている現状の中、中途退学者が毎年二桁を超えている。今後これらを減少させるためには生徒の多様性に寄り添い、今までの方

法から思い切って脱却する必要があると考える。

- ⑤ 三月からの学校自粛を受け学校としてはどのような形で授業を保障するか、学力を担保するかが大きな課題となった。具体的解決策としてはICT教育の整備が喫緊の課題となる。

7 次年度への改善策

- ① 本校においては基礎学力の向上が絶対的に求められるものである。そのためには現在の取り組みを確実に継続しつつ、更なる工夫をしなければならぬ。研修への積極的な参加、特に若手教員の研修の場を積極的にもとめ生徒指導を始め教科指導、部活指導等のあらゆる指導力の向上を求めなければならない。
- ② 進学に向けた取り組みを精査し、前例にとらわれず新たな方法を模索し、継続する必要がある。
- ③ 中退者ゼロを目指し生徒の多様性に出来る限り寄り添える環境を整備していく必要がある。(ICT環境の整備等)
- ④ 様々な生徒の入学に対しての対応の準備が必要である。女子制服のスラックス導入はその一例であったが、今後男女の制服の性差をなくすべく現在取り組んでいる。
- ⑤ 今回の新型コロナウイルス感染による、学校休業で認識された事は、新たな学校の形態を考え従来の形と併用しながら運営していかなければならないという事であった。具体的には今回のように自宅待機中の生徒に対しては双方向のオンライン授業の必要性が浮き彫りになり、公立小中高に於いては積極的導入がスピーディーに行われる予定である。本校もオンラインを駆使して現状出来る限りの方法で対応はしたが、一方通行の配信のみに終わり双方向までは実施できなかった。再び休業になった時に現状のままでは、他校から遅れを取り社会的信頼を失いかねない。しかも、これらの整備により学校以外、教室以外で授業がオンタイムで受けられるという事になれば、多様化の進む生徒、例えば不登校の生徒にも対応できるようになり退学者の減少にもつながると考える。
- ⑥ 様々な要望に出来る限り答える。